

第11代緑のふるさと協力隊

若林江利子さん

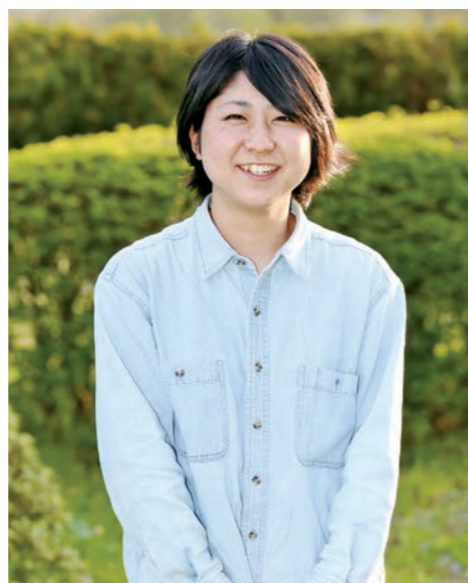
埼玉県熊谷市出身 22歳

プロフィール



1991年埼玉県生まれ。現在東京農業大学国際農業開発学科4年生。今年4月、大学を休学して緑のふるさと協力隊員に。趣味は登山で、休日はテントをバッグに出掛ける。遠野でやりたいことは早池峰登山、稲荷穴探検、神楽など多数。

Close-up クローズアップ 旬な人を紹介



見るもの、することすべてが新鮮 遠野で「生きる力」身に付けたい

「生きる力」を身に付けたい。若林さんの言う生きる力にあいまいな意味はない。物を育て、収穫し、料理して食べる。薪で暖を取ること。それが若林さんの言う生きる力。ここ遠野ならそれが実現できると、毎日農作業などに励んでいる。

生まれも育ちも埼玉県で、在学中の東京農業大学では発展途上国の支援などを学んでいる。その大学を休学し、ふるさと協力隊に挑戦しようとしたのは今からわずか3カ月前。漠然と農業で途上国を支援する職種を希望してはいたが、農業のことがまったく分からない。そのとき、以前何気なく訪れた緑のふるさと協力隊の説明会を思い出

し、「周りの友人と違うことをするので勇気は必要でしたが、このままでいいはずがないから」と思い切った。親も後押ししてくれた。

大学では座学が多く、田植えやトマト苗の固定作業など、初めての農業の現場で四苦八苦。農業のプロの教えに「同じ田植えでも、場所が違うからこうする、などの勘がすごい。身に付けたい感覚です」と意気込む。

大学では探検部に所属し、登山や沢登りなどを楽しむ根っからのアウトドア派。趣味の登山は「生きる力と直結する」と言う。「山では限られた装備で食事、寝床の確保などを。山は自分を高めてくれる」と趣味も本気だ。



トマトの苗の固定作業に挑戦中の若林さん

実は一人暮らしは初めてで、炊事洗濯も車もすべて「初心者マーク」。だから「毎日が新鮮。地域の人たちが何かと親切にしてくださるので、大変助かっています」と感謝する。ラップ隊や郷土芸能などの活動に、これまでの都会生活では感じられない深い「絆」も感じるといふ。

農作業、人との出会い、地域とのつながり。彼女の求める「生きる力」以上の力が遠野で身に付くかもしれない。

ひと月1回のペースで見学会を開催しています!!

いい家づくりの秘訣は3つ以上の見学会に行くことから

会場選びで最も大切なことは、モデルハウスのような「規格住宅」ではなく、今から実際に住まうご家族がいらっしゃる「生きた家」をご覧になること。立石の見学会では子育て・介護など、そのご家族の快適さを極めたアイデア満載の家々をご覧いただけます。



(株)立石工務店 検索 63-1731

開催日や会場の詳細は新聞折込チラシ又はホームページで yasukute-ii-iedukuri@tateisi.jp

2013 NO. 96

広報遠野 6

目次	03	クローズアップ
		第11代緑のふるさと協力隊員、 若林江利子さん
	04	特集 家計に効く! ごみダイエット
		本市の燃えるごみの現状を紹介し、ごみ減量のためのポイントを特集
	10	早池峰山山開きのお知らせ
	12	各種表彰者、各種委員紹介
	14	検診のお知らせ
	16	総合カレンダー
	18	スポーツ結果、水質調査結果
	20	ニュース&トピックス
		博物館入館者200万人突破/あやおり「食暦」発刊/とおの物語の館オープン/市庁舎のあり方提言書提出 ほか
	22	図書館・博物館、放射性物質濃度測定値のお知らせ
	24	学びのいずみ
		子ども向け「英語教室」/遠野植物講座 /まちづくり講座/遠野遺産ウオーク /アフリカ・カメルーン講座 ほか
	26	インフォメーション
	28	まちの話題
		南部氏遠野入部行列/合同お花見会/復興女子会議/あぐりスクール開催 ほか
	30	みんなの広場
	32	青春のトーク ほか

■市の人口(4月末現在)
男性:14,205人(-4人)
女性:15,352人(-26人)
計:29,557人(-30人)
世帯数:10,832戸(37戸)
※()内は前月比

■刑法犯総件数(平成25年1~4月)
21件

■交通事故発生件数(平成25年1~4月)
発生260件 負傷者29人 死者1人

■火災発生件数(平成25年1~4月)
建物1件 林野その他7件 計8件

■救急車出動回数(平成25年1~4月)
400回

地域のさまざまな情報をお寄せください



市へのご意見・ご提言、広報へのご感想など、皆さまからの情報をお待ちしています。各地区センターや市の公共施設に「市政なんでも相談箱」(左)を設置しています。ぜひ、ご利用ください。